



講座のアピールポイント

1. どんな生物にとっても、絶滅せずに存続し続けるためには、個体の形成（発生）と個体の再生産（生殖）が必須です。本講座では、発生や生殖に関する実習や講義を通じて、生物が子孫を残すための様々な戦略を知り、生物の営みの多様性や普遍性を実感するような教育プログラムを実施しています。これは、ヒトという動物の特性について改めて考える機会にもなり、医学生の人間観の形成に貢献しています。
2. 獨協医科大学は緑豊かな環境に立地しています。本講座では、本学構内や周辺の緑地に生息する多種多様な動植物を観察する実習も行っています。自然を理解するには、教科書などの書物から知識を得るだけでなく、自分の目で実際に自然を確かめることも大事になります。自然を見つめることで感性も豊かになります。本講座はこのような教育を通し、人間性豊かな医療人の育成に努めています。

講座研究紹介

1. シカやサルのような哺乳類に加えて、ヒトデやミミズ、昆虫など、色々な動物をもちいて、発生や生殖に関わる遺伝子やタンパク質の研究をしています。研究の成果は、ヒトを含む多様な生物における発生や生殖の分子メカニズムを明らかにする貴重な手がかりになります。
2. 本講座では、クマムシ（緩歩動物）の分類学に関する研究を行っています。クマムシは体長が 1 mm にも満たない小さな無脊椎動物であり、土壌中やコケの中、池などの身近な環境にも生息しています。クマムシの分類学を進めることにより、地球上の生物多様性の一端を明らかにすることができます。



コケに生息するトゲクマムシの一種
(電子顕微鏡写真)



分裂して増えるヒトデの一種